

えひめの農業農村整備2026

Agricultural infrastructure improvement and rural development in EHIME



第32回写真コンテスト作品
「田植えの準備」 (大洲市)



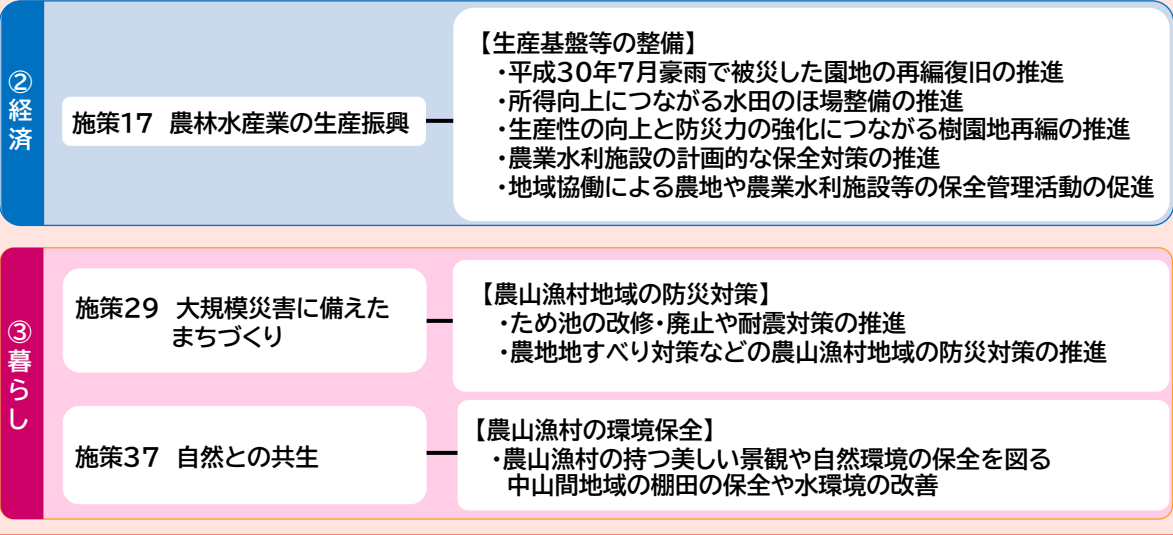
愛媛県

EHIME PREFECTURE

◆ 愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～

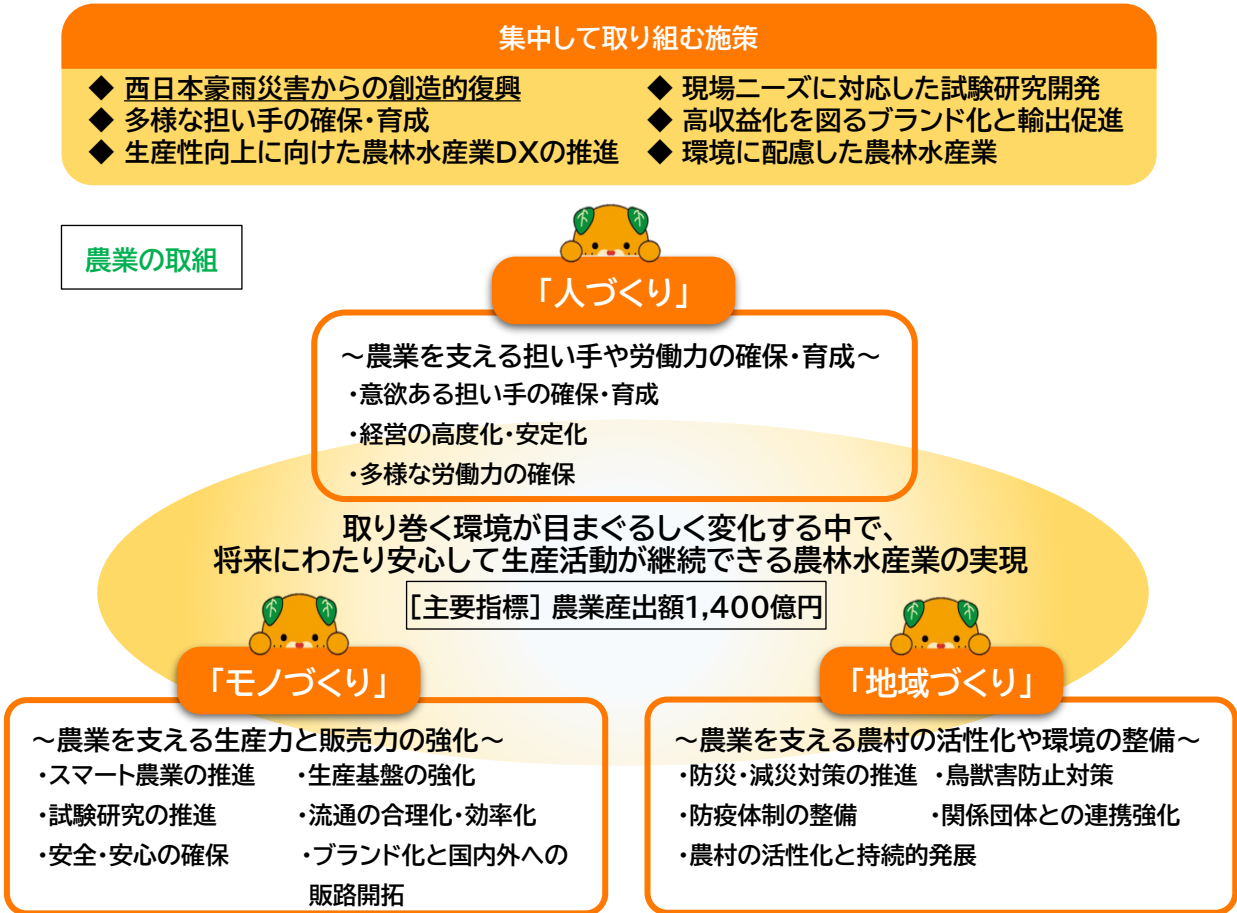
方向性実現のための政策・施策体系

「人」「経済」「暮らし」の3つの分野の下に9の政策を設定し、さらにその下に37の施策を置き、県の事業は各施策の目標の実現に向けた手段として紐づけ、全分野を網羅した体系とする。



◆ えひめ農林水産業振興プラン2026(R8～R12)

＝愛媛県の未来を創る農業・農村振興条例に基づく基本計画＝



◆ えひめ農業農村整備の基本方針

県では、平成30年7月に発生した「西日本豪雨災害からの創造的復興」を最優先課題に掲げ、「防災・減災対策」「人口減少対策」「地域経済活性化対策」に重点を置いて各種施策に取り組んでいます。

農業農村分野においても、西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興を最優先に、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対応するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」を施策の柱として各種農業農村整備事業を展開し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指します。

最優先施策

柑橘園地の創造的復興

課題：西日本豪雨災害からの創造的復興

崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」等により、**災害に強く生産性の高い園地を創造**します。

重点施策

農業農村を支える担い手対策

課題：農業従事者の減少・高齢化への対応

意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、**産地の生産力を強化**します。

樹園地

- 園地の緩傾斜化や農道・園内道、かん水施設の整備など、生産性の向上と防災力の強化につながる**再編整備**
- 本県特有の急傾斜園地に対応した**小規模な園地改良**
- マルドリ方式との併用やICT化など**既存かんがい施設の高度化** など

水田

- 農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの低減を目指した**水田の大区画化**
- 高収益作物への転換や新たな産地形成に向けた**水田の汎用化**
- 水管理の省力化に向けた**用水のパイプライン化**
- 農業者自らが行う畦畔除去等の**簡易な区画拡大** など

農業農村の防災・減災対策

課題：頻発・激甚化する自然災害への備え

決壊時の影響が大きい**防災重点ため池**を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、**農業農村の防災機能を強化**します。

両対策を支える施策

農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等

農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取組を推進します。

- 計画的かつ効率的な**農業水利施設の長寿命化対策**
- 農地・農業用水利施設等の**地域保全管理活動の促進**
- 条件不利地域である**中山間地域**における、きめ細かな基盤整備や生活環境向上の**支援** など

(1) 柑橘園地の創造的復興

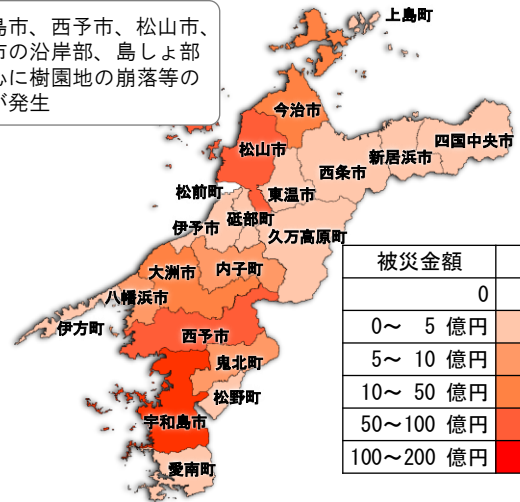
■ 平成30年7月に発生した西日本豪雨災害の被害状況

○ 農地・農業用施設等の内訳

区 分	件数	被害額
農地	2,720 件	147.5 億円
ため池	187 件	32.7 億円
農業水利施設	1,273 件	86.2 億円
農道	1,984 件	77.3 億円
海岸保全施設	27 件	7.5 億円
地すべり防止施設	14 件	2.0 億円
農村生活環境施設	10 件	0.5 億円
計	6,215 件	353.7 億円

○ 農地・農業用施設等の被害状況(市町別)

宇和島市、西予市、松山市、
今治市の沿岸部、島しょ部
を中心に樹園地の崩落等の
被害が発生



被災金額	凡例
0	
0～ 5 億円	
5～ 10 億円	
10～ 50 億円	
50～100 億円	
100～200 億円	

■ 崩落した園地の復旧

原形復旧

被災した部分を被災前に近い形状で復旧



宇和島市吉田町白浦



改良復旧

被災していない園地を一部取り込み小規模な
区画整理を実施



宇和島市吉田町河内



※「原形復旧」と「改良復旧」308箇所については、令和5年12月にすべて完了

再編復旧

周辺の被災していない園地も含めて大規模な区画整理を実施

頻発する豪雨や深刻な担い手不足等に対応した災害に強く生産性の高い園地に再編するため、県下4地区で進めており、令和7年度末に上浦地区の園地整備が完了。

◆事業実施スケジュール(予定)

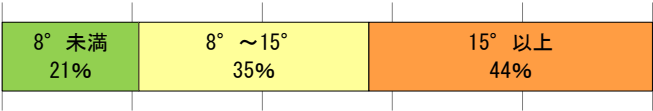
地区名	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
①玉津(たまつ) 宇和島市吉田町	構想検討 地元合意	計画策定 (県単)	農地中間管理機構関連農地整備事業 (区画整理5.4ha)							収穫開始		
							植栽					
②由良(ゆら) 松山市興居島	構想検討 地元合意	計画策定 (国補)	農地中間管理機構関連農地整備事業 (区画整理3.6ha)							収穫開始		
							植栽					
③上浦(かみうら) 今治市大三島	構想検討 地元合意	計画策定 (国補)	農地中間管理機構関連農地整備事業 完了 (区画整理6.7ha)							収穫開始		
							植栽					
④立間(たちま) 宇和島市吉田町	構想検討 地元合意		計画策定 (国補)	畑地帯総合整備事業 (区画整理4.0ha) (農道、用水施設等7.4ha)							収穫開始	
							植栽					

(2) 農業農村を支える担い手対策

樹園地における基盤整備

■ 地形条件

樹園地の多くは、傾斜地にあり、44%（全国16%）が15°以上の急傾斜地にあります。



樹園地の地形勾配（H13年3月時点）

（第4次土地利用基盤整備基本調査）

■ 整備状況

本県の樹園地は、かんがい施設や農道の整備は進んでいますが、その多くが地形条件の悪い傾斜地にあることや、果樹は、新たに苗木を植栽し収穫できるまで年数を要することなどから、園地自体の整備（区画整備）が進んでいません。

項目	愛媛県	全国
区画整備済	5.7%	66.1%
かんがい施設整備済	56.9%	26.1%
農道整備済（幅員3m以上）	78.8%	80.3%

注）樹園地のほか、普通畑、牧草地を含む

畑の整備率（R6年3月時点）



スプリンクラー自動化施設の整備（八幡浜市）



農道の整備（八幡浜市）

■ 推進方針

柑橘を主体とする樹園地については、更なる労働生産性の向上、高収益品目の生産拡大、高収量・高品質化等を促進するため、**園地の再編による緩傾斜化、農道・園内道やかん水施設の整備、既存かんがい施設の高度利用**などにより、**災害に強く生産性の高い基盤づくり**を推進しています。

このほか、生産性が高い優良園地を効果的に確保するため、排水対策等の実施による**水田の樹園地転換を促進**します。



園地の再編整備（松山市中島）



水田の樹園地転換（今治市菊間）

H28に県単独事業でマルドリ用パイプラインを設置

■ 事例紹介(再編整備)

下難波(しもなんば)地区(松山市) 農地中間管理機構関連農地整備事業(H30～)

整備前

- ◆複雑な地形の傾斜地で農道も狭い
- ◆主にいよかんを栽培
- ◆農業者の高齢化
- 収穫等の農作業が重労働
- 摘果や収穫等の作業が特定の時期に集中
- 放任園が増加



関係機関・団体の連携による支援

担い手の円滑な営農開始に向けて、県・市・ＪＡで組織する「**中予地区災害復興・樹園地再編ワーキングチーム**」が、植栽計画（土づくり、苗木の注文・定植）や施設計画（ハウス等の設置）なども含めてきめ細かく支援しています。

○基盤整備7.0ha
○農地集積



○優良品種導入
○施設整備 等

整備後

- ◆農道が完備された平坦な園地
- ◆紅まどんな、せとか等を植栽
- ◆すべての園地を担い手に集積
- ハウス栽培をはじめとする多様な営農に対応
- 収益性は実施前の約5倍に増加する見込み
- 担い手10人（個人8、法人1、ＪＡ）で営農

産地を代表する「紅まどんな」等優良中晩柑の生産拠点



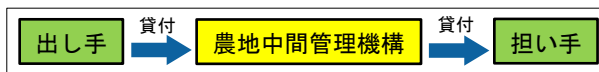
整備状況R8.3月現在



紅まどんなのハウス栽培状況(R7.11)

ポイント

- ・園地の基盤整備は、**農家負担の無い農地中間管理機構関連農地整備事業**を活用
- ・担い手への農地集積は、**農地中間管理機構**を活用



- ・ＪＡが参入した農地は、新規就農者の育成（研修等）にも活用し、将来的に**新規担い手に継承**

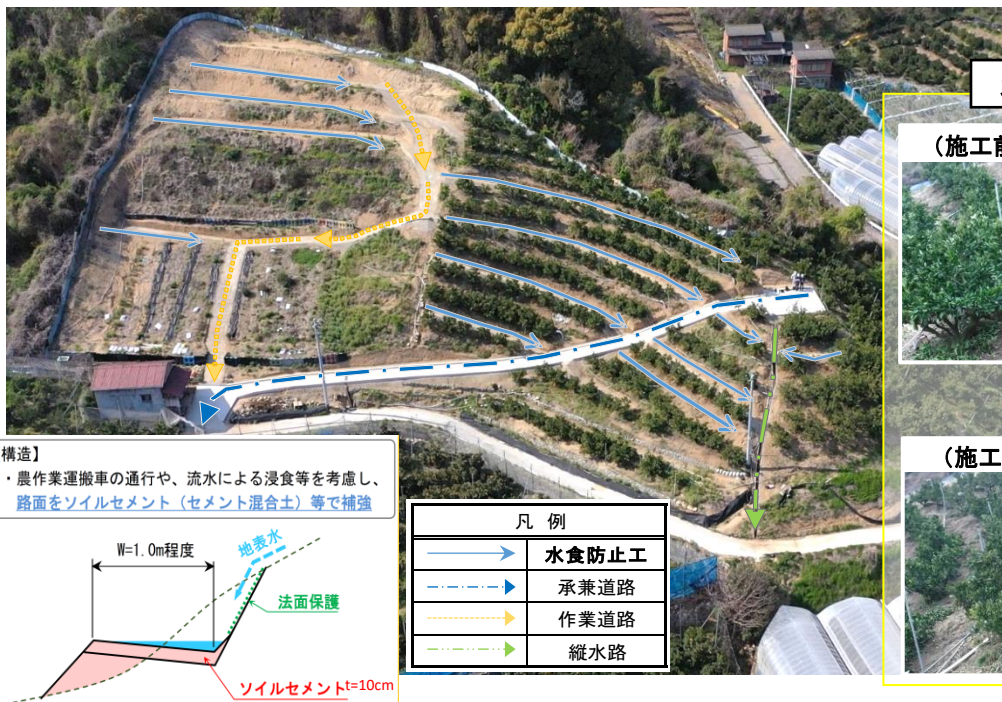
小規模な園地改良

本県特有の急傾斜園地に対応した小規模な園地改良

興居島(ごごしま)地区(松山市) 災害に強い園地整備手法確立事業(R4~R6)

整備内容

等高線状に承水路を兼ねた園内作業道(水食防止工)のモデル整備 A=0.3ha



水食防止工

(施工前)

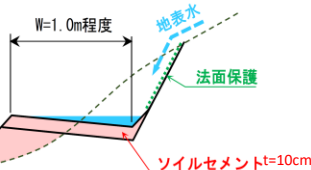


(施工後)



【構造】

・農作業運搬車の通行や、流水による浸食等を考慮し、路面をソイルセメント(セメント混合土)等で補強



凡 例

→	水食防止工
→	承兼道路
→	作業道路
→	縦水路

水利施設の高度利用

多様な水利用に対応した自由度の高い施設に改良

真穴(まあな)地区(八幡浜市) 農地耕作条件改善事業(H30~)

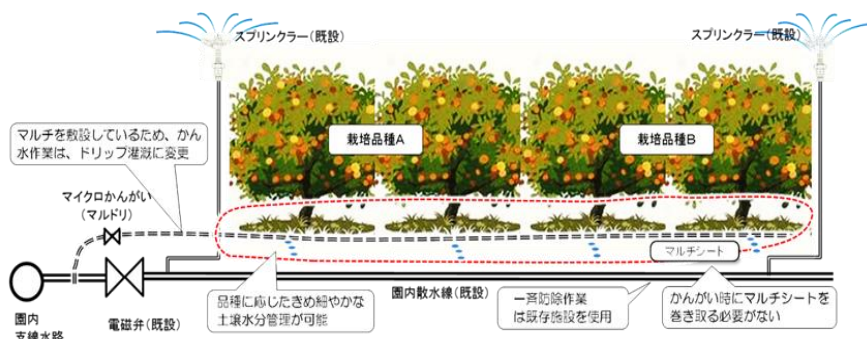
整備内容

きめ細かな水管理のためのマルチドリップかんがい施設の整備 A=44.8ha
一斉かん水・一斉防除が可能なスプリンクラー施設の高度化に向けた技術開発

マルドリ方式への対応

一斉かん水・一斉防除が可能なスプリンクラー施設にドリップ灌水の機能を追加

作作品種や栽培方式の多様化に対応

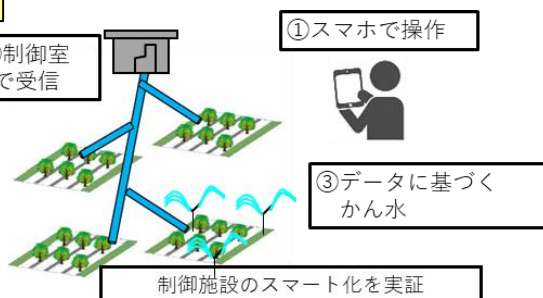


ICTを活用したかん水の遠隔操作・監視等

樹園地農業スマート化促進事業(県単) R6~R8

- ・データに基づき、散水場所や量を柔軟に設定
- ・スマホで遠隔操作、遠隔監視
- ・土壌改良剤も散布

▶ 樹園地農業のスマート化を実現



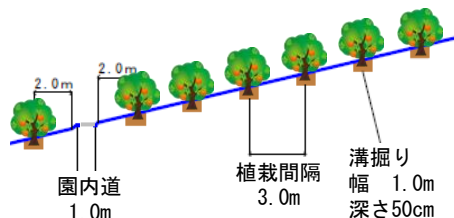
樹園地の再編復旧・再編整備の進捗状況(令和8年3月現在)

①【再編復旧】玉津地区

区画整理 5.4ha
(白浦1.7ha、法花津3.7ha)



白浦工区



〈白浦〉
R8春まで植栽 A=1.3ha
(温州、紅プリンセス)



溝掘り状況



〈法花津〉
R8春まで植栽 A=0.6ha
(温州、ボンカン、媛小春)



④【再編復旧】立間地区

区画整理 4.0ha
(白井谷0.7ha、正木谷2.2ha、ツノノチ1.1ha)
農道整備 0.1km (正木谷)
用水施設整備 7.3ha

R8春まで植栽
A=0.7ha
(温州、ボンカン、
河内晩柑、甘平)



白井谷工区



①【再編整備】下難波地区

区画整理 7.0ha
(区画整理、農道、かんがい施設)

- ・緩傾斜化した園地で担い手への集積
- ・優良品種の施設栽培による高収益化



施設紅まどんな生育状況(R7.11)



②【再編復旧】由良地区

区画整理 9.7ha (8団地)
うち被災団地 3.6ha (2団地)

〈6工区〉
R8春まで植栽
A=0.9ha
(せとか、紅プリンセス)



①【小規模な樹園地改良】十本松地区



記号	名称
	承水路兼用道路 L=175m
	水食防止工(兼 園内作業道) L=600m
	受益区域 A=0.9ha



③【再編復旧】上浦地区

区画整理 6.7ha
(盛4.5ha、井口1.6ha、古戸0.6ha)



R8春まで植栽
A=4.5ha
(紅プリンセス
はれひめ等)



(再編復旧)

地区名	箇所名	市町名	事業期間	受益面積 (ha)	整備済面積 (R8.3末)(ha)	整備率	農地集積率
① 玉津	白浦	宇和島市	R2～R9	1.7	1.3	76%	(現況)29%
	法花津			3.7	0.6	16%	(計画)100%
② 由良	5工区	松山市	R3～R10	2.7	1.2	44%	(現況)34% (計画)100%
	6工区			0.9	0.9	100%	
	未被災6工区			(6.1)		0%	
③ 上浦	盛	今治市	R3～R8	4.5	4.5	100%	(現況)0% (計画)100%
	井口			1.6	1.6	100%	
	古戸			0.6	0.6	100%	
④ 立間	白井谷	宇和島市	R4～R11	0.7	0.7	100%	(現況)19% (計画)93%
	正木谷			2.2		0%	
				(5.6)			
	ツガノクチ			1.1		0%	
計 4地区				29.2	11.4		

(再編整備)

地区名	市町名	事業期間	受益面積 (ha)	整備済面積 (R8.3末)(ha)	整備率	農地集積率
① 下難波	松山市	H30~R8	7.0	7.0	100%	(現況)12% (計画)100%
② 浅海原	松山市	R2~R8	5.7	5.7	100%	(現況)23% (計画)100%
③ 砥部	砥部町	R3~R10	7.4	0.5	7%	(現況)17% (計画)100%
④ 堀江	松山市	R4~R10	14.0	2.0	14%	(現況)67% (計画)95%
⑤ 中島	松山市	R5~R11	7.0		0%	(現況)37% (計画)89%
⑥ 泊	松山市	R6~R12	7.7		0%	(現況)25% (計画)73%
⑦ 国木	八幡浜市	R7~R13	9.3		0%	(現況)16% (計画)100%

(原形復旧・改良復旧)

市町	原形復旧			改良復旧		
	件数	面積(ha)	完了時期	件数	面積(ha)	完了時期
宇和島市	140	9.4	R5.12月	2	1.3	R5.2月
宇和島以外	165	31.4	R4.3月	1	1.4	R2.6月
計	305	40.8		3	2.7	

(小規模な樹園地整備)

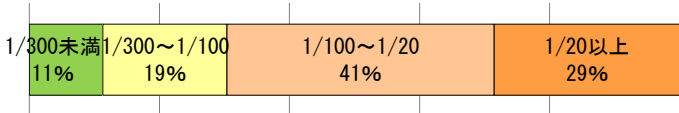
地区名	市町名	事業期間	受益面積 (ha)	進捗率 (事業費ベース)
① 十本松	宇和島市	R8~R11	0.9	0%
② 春日	宇和島市	R8~R11	1.0	0%

水田における基盤整備

市町、ＪＡ、農地中間管理機構等と連携し、地域の実情や地形条件、産地の振興方針等を踏まえながら、意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進します。

■ 地形条件

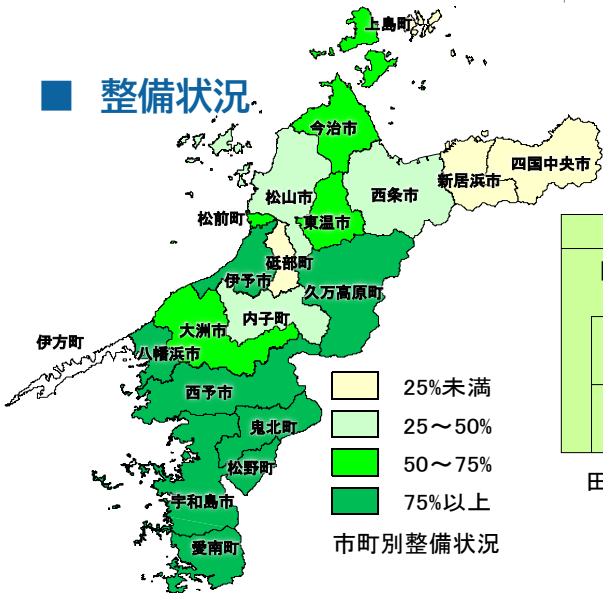
水田の29%（全国14%）が1/20以上の急傾斜地にあります。



水田の地形勾配（H13年3月時点）

（第4次土地利用基盤整備基本調査）

■ 整備状況



市町別整備状況

- 25%未満
- 25～50%
- 50～75%
- 75%以上

項目	愛媛県	全国
区画整備済 10a区画以上	63.6%	-
30a区画以上	31.0%	69.3%
50a区画以上	3.2%	12.6%

田の整備率（10a区画以上：R8年3月時点、その他：R6年3月時点）

（農業基盤情報基礎調査、農地整備課調べ）

■ 推進方針

担い手への農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの低減、高収益作物への転換等を促進するため、**ほ場整備**や**暗渠排水等の整備**による**大区画化**や**汎用化**を推進しています。

■ 事例紹介

黒川(くろかわ)地区(宇和島市) 農地中間管理機構関連農地整備事業(R4～R9)

大区画化

区画整理を行い、農道に接した大区画な農地に整備

狭く不整形な水田
農道や排水路も整備されていない



大型機械での営農が可能となり、
担い手の規模拡大が可能に！



汎用化

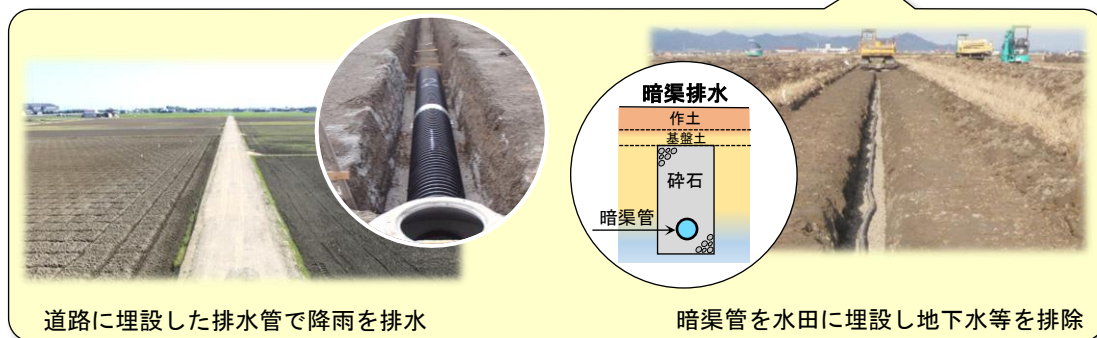
排水路整備や暗渠排水・客土を行い、水はけの良い水田に改良

水はけが悪く
米以外の作物が栽培できない



安井（やすい）地区（西条市）
農業競争力強化農地整備事業（H25～R8）

湿潤状態が改善し、
野菜等の高収益作物の栽培が可能に！



道路に埋設した排水管で降雨を排水

暗渠管を水田に埋設し地下水等を排除

用水管理のスマート化

用水路のパイプライン化等を行い、水管理を省力化

水路の土砂上げや用水管理に多大な労力を
要しており、経営規模の拡大に支障



大頭（おおと）地区（西条市）
農業競争力強化農地整備事業（H24～R8）

安定した水供給、維持管理の省力化が可能に！

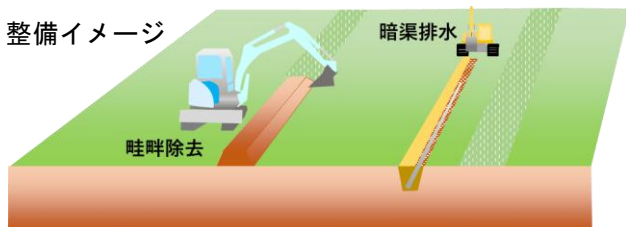


簡易な区画拡大

農業者自らが行う畦畔除去等により、区画拡大を推進

【大区画化等加速化支援事業】令和7年度補正から（国費定額補助）

整備イメージ



・畦畔除去 4万円/100m

主な事業種類	条 件	助成単価	備 考
農用地の区画拡大	段差の解消（高低差10cm超）	27.5万円/10a	
	畦畔除去のみ	4万円/100m	
暗渠排水	バックホウ施工、表土扱いあり	22.5万円/10a	
除礫	深度30cm以上	25万円/10a	

※単価：集約化加算、大区画化加算あり

■ 水田の基盤整備の実施状況(令和8年3月現在)

水田ほ場整備の実施状況(H21以降)

区分	地区名	市町名	事業名	工期	区画整理面積(ha)	R7末整備済面積(ha)	整備率	農地集積率	備考<標準区画>
【完了】	① 高田	西条市	競争力	H21～H28	23.9	23.9	100%	(現況)32.7% (計画)67.9%	<30a>
	② 大兵衛南	西条市	競争力	H23～R2	31.8	31.8	100%	(現況)31.5% (計画)75.5%	<50a>
	③ 蔵井	西条市	競争力	H24～R2	25.4	25.4	100%	(現況)33.7% (計画)75.1%	<50a>
	④ 氷見上部	西条市	競争力	H23～R6	24.1	24.1	100%	(現況)37.2% (計画)79.6%	<30a>
	⑤ 新宮藤木	西条市	競争力	H23～R6	27.1	27.1	100%	(現況)29.7% (計画)74.6%	<30a>
	⑥ 道場	西条市	競争力	H24～R6	25.9	25.9	100%	(現況)51.7% (計画)74.4%	<30a>
【継続】	① 大頭	西条市	競争力	H24～R8	35.6	35.6	100%	(現況)28.7% (計画)62.5%	<30a>
	② 安井	西条市	競争力	H25～R8	21.7	21.7	100%	(現況)0% (計画)74.7%	<30a>
	③ 伊延西	西予市	機構	H31～R10	17.7	10.6	59.9%	(現況)17.9% (計画)100%	<30a>
	④ 野村	西予市	機構	R2～R9	7.5	7.5	100.0%	(現況)10.2% (計画)85.3%	<30a>
	⑤ 南吉井	東温市	機構	R3～R10	14.2	4.8	33.8%	(現況)23.4% (計画)100%	<30a>
	⑥ 野佐来	大洲市	機構	R4～R10	7.6	2.8	36.8%	(現況)0% (計画)100%	<30a>
	⑦ 黒川	宇和島市	機構	R4～R9	7.0	4.2	60.0%	(現況)27.3% (計画)100%	<30a>
	⑧ 是能	宇和島市	機構	R4～R10	19.4	4.6	23.7%	(現況)0.5% (計画)100%	<30a>
	⑨ 一本松・新屋敷	西条市	機構	R5～R11	17.0	0.0	0%	(現況)45.7% (計画)100%	<50a>
	県営 計 (15地区)				305.9	250.0			
	国営 道前平野<19団地>	西条市	農地再編	H28～R11	654.0	244.2	37.3%	(現況)40% (計画)83%	<50a>
※ 北田野		西条市	耕作条件	R8～R9	1.8	—	—		
計 (17地区)					961.7	494.2			

※法人が事業主体

⑤【農地中間管理機構関連農地整備事業】南吉井地区

区画整理(30a) 14.2ha 表作：水稻、ミニトマト、いちご 等
暗渠排水 14.2ha 裏作：裸麦、ブロッコリー 等
農地は中間管理権を設定し担い手へ集積



①【農業競争力強化農地整備事業】大頭地区

区画整理(30a) 35.6ha、暗渠排水 35.6ha

表作：水稻、きゅうり、トマト、アスパラガス 等

裏作：裸麦、キャベツ、たまねぎ 等



②【農業競争力強化農地整備事業】安井地区

区画整理(30a) 21.7ha

表作：水稻、きゅうり、大豆、さといも 等

裏作：裸麦、たまねぎ、にんにく



④【農地中間管理機構関連農地整備事業】野村地区

区画整理(30a) 7.5ha、暗渠排水 5.6ha

表作：水稻、WCS用稲、青ネギ、さといも 等

裏作：青ねぎ、ケール 等



農地は中間管理権を設定し担い手へ集積



(3) 農業農村の防災・減災対策

頻発化、激甚化する豪雨災害や、南海トラフ巨大地震の発生等に備え、農地・農業用施設や地域住民の生命・財産等への被害を未然に防止又は軽減するため、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進します。

ため池対策

ため池下流の人家、農地、公共施設などの安全を守ります

■ 県内ため池の状況

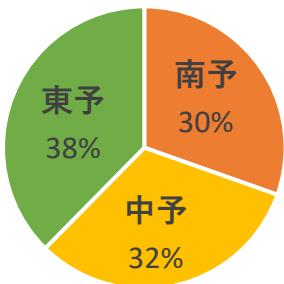
○ 築造年代

県内の農業用ため池は、約6割が江戸時代以前に築造されており、築造後100年以上経過しているものが大半を占めています。

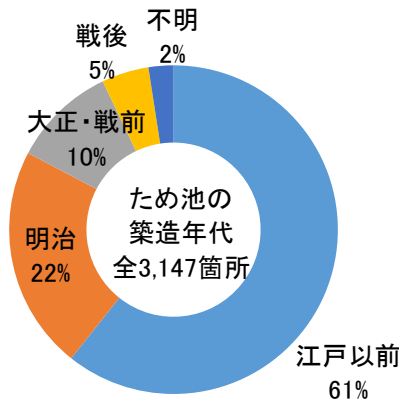
○ ため池数

県内には、3,147箇所の農業用ため池があり、そのうちの1,751箇所を決壊時の影響が大きい防災重点ため池に指定しています。

農業用ため池の数は全国14位、防災重点ため池数は全国8位（令和3年12月時点）となっており、市町別では、今治市が828箇所と県内で最も多く、次いで松山市、西予市と続きます。



県内の農業用ため池の割合



管内	市町名	農業用ため池 (箇所)	うち防災重点ため池 (箇所)
東予	四国中央市	53	44
	新居浜市	67	49
	西条市	192	146
	今治市	828	503
	上島町	44	10
中予	松山市	668	299
	伊予市	162	85
	東温市	97	85
	松前町	2	2
	砥部町	57	20
	久万高原町	20	6
	大洲市	102	23
南予	内子町	96	19
	八幡浜市	30	4
	伊方町		
	西予市	292	183
	宇和島市	181	140
	松野町	56	37
	鬼北町	105	53
	愛南町	95	43
	合計	3,147	1,751

■ 推進方針

決壊時の影響が大きい**防災重点ため池を優先**し、**堤体の改修や耐震補強等のハード対策**と、迅速な避難行動につなげる**ハザードマップ作成等のソフト対策を推進**しています。また、市町や愛媛県土地改良事業団体連合会と協力し、ため池管理者の適正な管理をサポートするため、**「愛媛県ため池保全サポートセンター」を令和3年4月に開設**し、管理者からの相談対応などを一元的に行うほか、ため池の点検・パトロールを実施（年間約70箇所）するなど、**日常管理の支援や監視体制の強化**に取り組んでいます。

ハード対策

防災重点ため池の決壊防止につなげます

ため池改修

堤体の変形や漏水が見られる老朽化したため池の改修

要改修ため池数	R7まで改修済	整備率
292	88	30%



改修前



改修後（今治市：医王地区）

ため池耐震

耐震性能が不足しているため池の耐震補強

要対策ため池数	R7まで対策済	整備率
31	9	29%



耐震対策前



耐震対策後(押え盛土の追加)
（東温市：追入下池地区）

ため池廃止

農業用水として利用の見込みがないため池の廃止

要廃止ため池数	R7まで廃止済	整備率
50	26	52%



廃止前



廃止後（堤体の開削）
（宇和島市：瀬戸地区）

ソフト対策

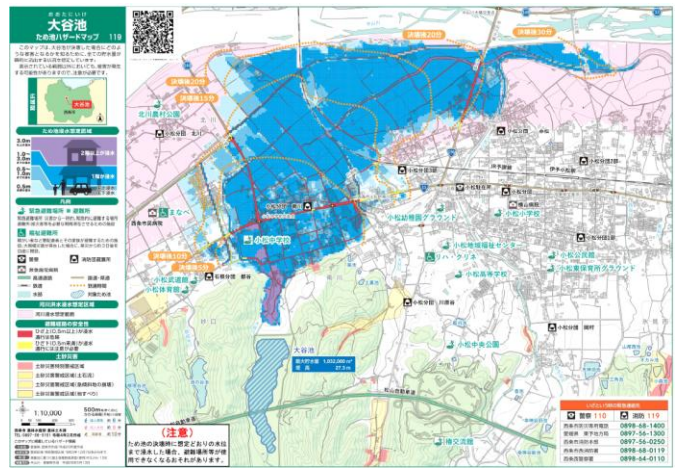
地域への情報提供を行い、災害時の迅速な避難行動につなげます

ため池ハザードマップ

被害想定範囲等を可視化するハザードマップの作成

全1,751箇所の防災重点ため池を対象に、万が一、ため池が決壊した場合の想定浸水区域、浸水水位、到達時間及び避難所を記載したハザードマップを作成し、県や市町のホームページ等で公表しています。

【えひめのため池ホームページ】
<https://www.pref.ehime.jp/page/12560.html>



ハザードマップ（西条市）

ため池保全サポートセンター

ため池管理に関する技術的指導、点検・パトロールの実施

- 令和3年度に開設したサポートセンターでは、
- ①改修済のため池を対象とした点検・パトロール 約70か所／年
 - ②未改修のため池を対象に、堤体・洪水吐・樋管等の漏水・変形等を現地で計測し、危険性を評価する劣化状況評価 約80か所／年
 - ③管理者からの相談対応 約20件／年
- 等を行っています。



相談対応

【ため池管理アプリ】

緊急点検結果を現地で入力すると即時に関係機関に情報共有され、迅速な住民避難や応急対策につながります。

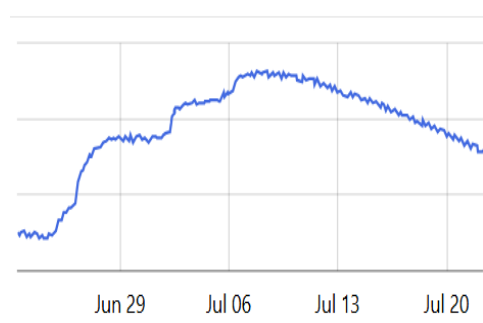


ため池管理アプリ画面

©国土地理院 SIP4 ©CORE CORP. ©農研機構

【ため池遠隔監視システム】

ため池に設置した水位計やカメラの情報を豪雨時や地震時にインターネットを通じて遠隔で安全に確認でき、ため池の管理・監視体制の強化に役立ちます。



ため池遠隔監視システム

地すべり対策

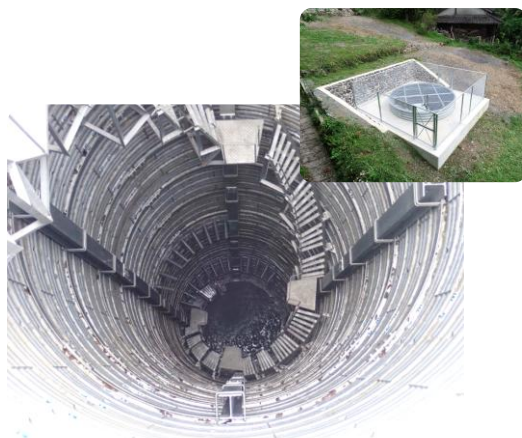
地すべりから農地や集落を守ります

本県は、急峻な地形と、東西に走る中央構造線を中心とした複雑な地質構造から、地すべり等の危険個所が数多く存在します。

このため、地すべり防止法により指定した区域において、被害を防止又は軽減するための地すべり防止対策や老朽化した施設の機能回復を図る長寿命化対策を進めています。

■地すべり防止区域(農林水産省農村振興局所管)

防止区域数	備考
187箇所	全国3位



集水井工（久万高原町：杣野地区）

海岸保全施設整備

海からの波浪や津波から農地や集落を守ります

本県の海岸線の総延長は約1,700km（全国第5位）あり、海岸保全区域として県が指定した津波、高潮、波浪等から防護する必要がある海岸の延長は1,161km（全国第3位）に及びます。

このうち、背後の農地を保全するために指定した農地海岸361km（150海岸）について堤防・護岸等の海岸保全施設の整備や施設の管理・改良・長寿命化対策を進めています。

■海岸保全区域(農林水産省農村振興局所管)

管理区間延長(海岸数)	備考
361km(150海岸)	全国1位 (管理区間延長)

※管理区間延長は共同管理区間を含む



堤防の嵩上げ（上島町：佐島東地区）

湛水防除

大雨による湛水から農地や集落を守ります

立地条件の変化等により排水条件が悪化した地域において、農地等の湛水被害を防止するため、排水機場や排水路の整備や保全対策を進めています。



豪雨による農地の湛水



排水機場の整備（西条市：玉津・下島山地区）

(4)農業水利施設の適切な保全

農業水利施設の長寿命化

施設の長寿命化により農業用水の安定供給を図ります

本県は、急峻な地形に加え、瀬戸内海沿岸部では年間を通じて降水量が少ないことから、用水不足を解消するため、これまで多くの水源や用水路を整備してきました。これらの農業水利施設の機能を将来にわたり安定的に発揮させるため、劣化状況に応じた適時・適切な予防保全対策を推進します。

基幹水利施設の保全対策実施状況 (H19～R7)

区 分		地区数	受益面積 (ha)※2	主要施設(施設・km)		
				ダム・頭首工等	用排水路	畑かん 制御室※3
施設全体		126	37,672	84	779.6	291
保全対策	対象施設①	104	34,998	73	745.6	291
	保全対策完了②	36	11,061	21	249.8	215
	進捗率 ②/①	35%	32%	29%	34%	74%



銚子ダム（砥部町）ゲート更新

○国営施設機能保全事業「南予用水地区」の実施状況

平成26年度に事業着手した南予用水地区は、これまでに揚水ポンプ等の電気設備更新や幹線水路の保全対策を実施しており、現在の進捗率は事業費ベースで約8割となっています。

○地区の概要

受益面積：7,200ha（樹園地）、水道用水 約17万人
総事業費：73億円（計画時点）
負担割合：国2／3、県1／6、地元1／6
工 期：平成26年度～令和9年度

工種別進捗状況（R7まで）

工 種	施 設 名 称	設 備 名 称	進 捗 率 (%)	備 考
貯水池	布喜川調整池	建屋	0	
		ゲート設備	100	
		電気設備	100	
		計測設備	100	
	伊方調整池	建屋	0	
揚水機	20機場	電気設備	100	
		計測設備	100	
		建屋	78	個所数14/18
		揚水機設備	39	個所数7/18
		電気設備	85	個所数17/20
		吸水槽	0	個所数0/1

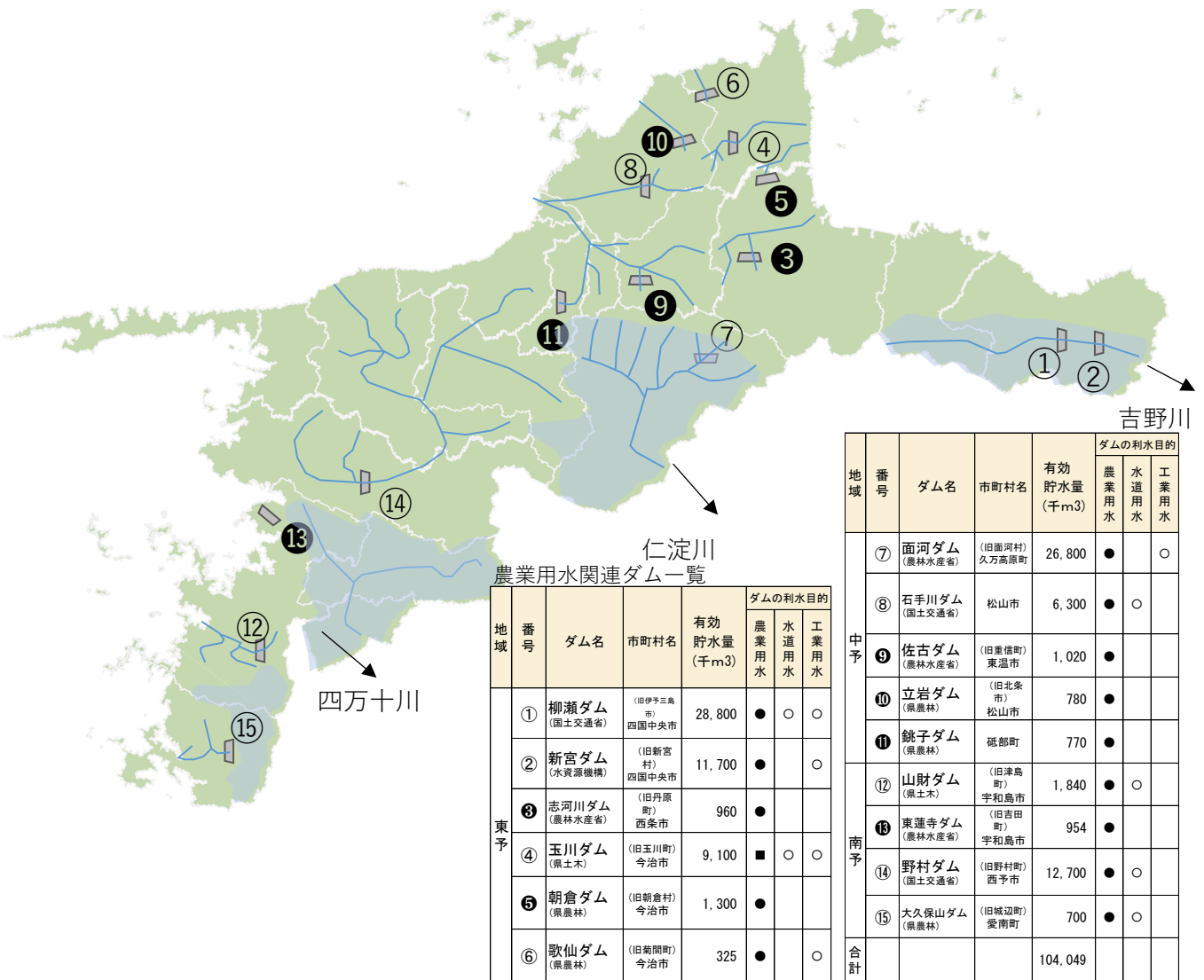
工種別進捗状況（R7まで）

工 種	施 設 名 称	設 備 名 称	進 捗 率 (%)	備 考
用水路	吉田導水路	トンネル	—	H26 業務結果継続監視
		野村取水塔	100	
		監査塔補修	0	
		監査塔及び監査路	0	
		管理橋	0	
		電気設備	100	
	南北分土工	ゲート設備	100	
		建屋	100	
		分土工	50	残り H30 災害本復旧
		電気設備	100	
水管理 施設	北幹線水路	14工区	29	個所数4/14
		南幹線水路	2工区	0 個所数0/2
		支線水路	4路線	0 個所数0/4
		宇和島中央管理所	建屋	100
	南予農水中央 管理所	水管理施設	50	残り 通信回線変更
		電気設備	100	
		建屋	0	
		水管理施設	100	
		電気設備	100	

愛媛県における水資源の活用

本県は、地形が急峻で、降雨が梅雨期や台風期に集中するため、その多くは水資源として利用されず海に流出します。また、瀬戸内海沿岸部では年間を通じて降水量が少なく、さらに、5水系ある一級河川のうち、吉野川や面河ダムがある仁淀川、四万十川の3水系は、県内に源を発しながら県外へ流出します。

このため、昭和20年以降に実施した農業農村整備事業26地区でダムや統合堰による水源開発のほか、他省庁で建設した5ヶ所のダムに、年間最大使用水量として、約1億3千2百万m³の農業用水を確保しており、県下の農業用水必要量6億1千万m³（作付面積3万haから試算）の約20%を確保しています。



朝倉ダム（今治市）



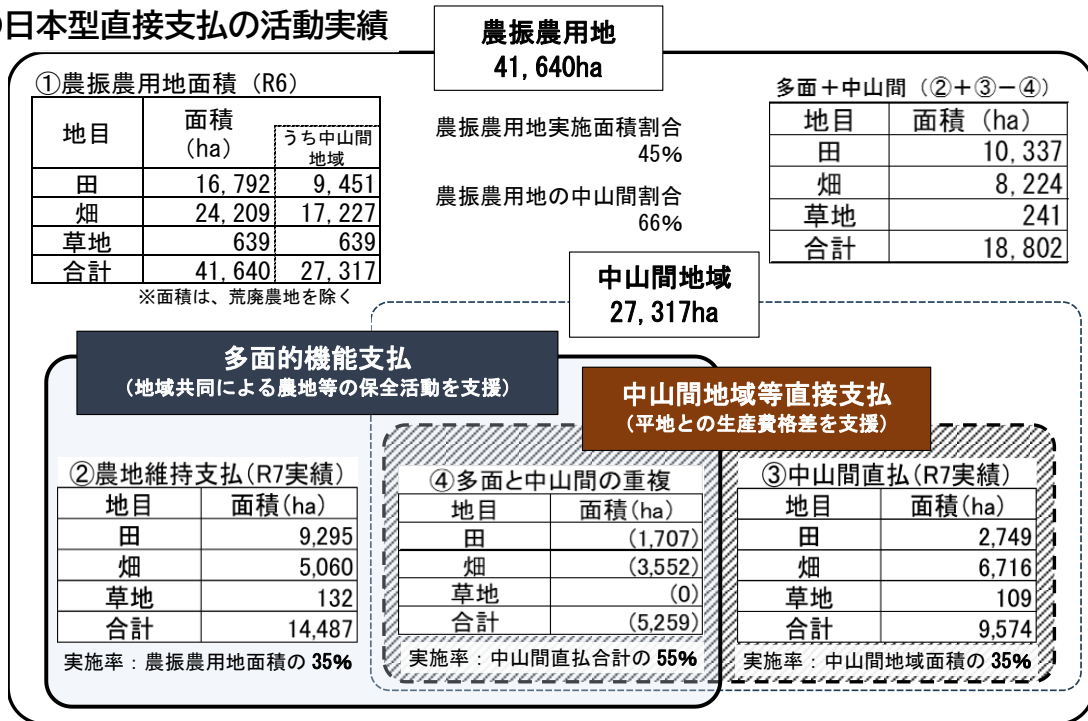
銚子ダム（砥部町）

- ・管理開始 1981（昭和56年）
- ・施設規模 堤高47m、堤長253m、総貯水量1,400千m³

- ・管理開始 1978（昭和53年）
- ・施設規模 堤高47.0m、堤長141.6m、総貯水量780千m³

(5)日本型直接支払制度

○日本型直接支払の活動実績



■ 多面的機能支払交付金



農地維持支払

農用地、水路、農道等の基礎的な地域協働による保全活動を支援します

- 支援対象 地域協働による農用地、水路、農道等の法面の草刈り、水路の泥上げ 等



農道の草刈り (東温市)



水路の泥上げ (西予市)

資源向上支払

農用地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動を支援します

- 支援対象 水路、農道、ため池の軽微な補修、農村環境を保全するために行う植栽、生き物調査、施設の長寿命化のための補修更新 等



生き物調査 (西条市)



ため池の補修 (東温市)

■ 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動の継続を支援します。

○ 支援対象

集落等で取り組む耕作放棄防止のための活動や農道・水路の管理方法等を定めた協定を締結し、5年間以上農業生産活動等を継続する農業者等

○ 対象活動

- ・ 農業生産活動を継続するための活動
耕作放棄の発生防止活動(法面保護・改修、鳥獣被害防止等)、水路・農道等の管理活動(泥上げ・草刈り等)、周辺林地の管理、景観作物の作付、環境保全に資する活動 等
- ・ 体制整備のための前向きな活動
共同取組活動を継続できる体制づくりを進めるため、複数の集落協定間でのネットワーク化(活動の連携)や統合、多様な組織等の参画に向けた計画を作成



鳥獣被害防止活動（八幡浜市）



集落の課題について話し合い（松野町）

スマート農業加算

集落のスマート農業による省力化・効率化を支援します

- 支援対象 ドローン、ラジコン草刈機、水管理システム、自動鳥獣捕獲センサー、電気柵監視システム 等による農作業の省力化・効率化

集落でスマート農業による省力化・効率化の定量的な目標を設定し、その達成に向けた取組に加算金が活用できます。

具体的な目標例

① 取組面積の拡大

例：ラジコン草刈機を利用する

面積を△haから□haに

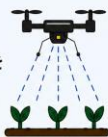
増加させる など



② 作業時間の削減

例：ドローンを導入し、
農業散布に要する時間を

○削減させる など



ラジコン草刈機

(6) 中山間地域の振興

きめ細かな基盤整備

地域の特色を活かした営農の確立を図るため、地域の実情に沿ったきめ細かな基盤整備を推進しています。

- 県営中山間地域総合整備事業
鬼北・松野地区（松野町）



水路の整備

生活環境の向上

生活環境の向上や集落機能の維持・強化に向けた集落道路の整備、排水対策、営農飲雑用水の確保、污水处理施設の整備などを推進します。

- 団体営農業集落排水資源循環統合補助事業
多田地区（西予市）



農業集落排水施設の整備

中山間ふるさと保全活動

地域の主体的な活動を支援します

■ ふるさと・水と土ふれあい事業

「地域の主体的な活動」や「活動を支える人づくり」を支援し、ふるさとの水と土を守り、県民が住みたくなくなるような魅力的な中山間地域づくりを推進しています。

【ふるさと水辺の生き物教室】

地域の将来を担う子供たちを主体に、自然環境の大切さや環境保全に対する取組への理解を深める生き物教室を開催しています。



緑（愛南町）

【ふるさと保全計画の策定】

地域の課題を洗い出し、地域が目指す将来像の実現に向けた道筋等をまとめた「ふるさと保全計画」を策定しています。



地域住民による話し合い（鬼北町）

【えひめのたなだん(棚田・段畑)】

棚田・段畑の魅力や地域の保全活動を紹介することを目的に、ホームページ「愛媛のたなだん」の開設、フォトコンテストの開催、県内14地区での「棚田カード」の配布及びSNSの開設を通じて、棚田に馴染みがない方へ、その魅力を「行って」「見て」「知って」もらうきっかけづくりを行っています。

せんじょう たなだ
千町の棚田 (西条市)



※つなぐ棚田遺産(農林水産省)R4.3月

かしだに たなだ
檜谷棚田 (大洲市)



※つなぐ棚田遺産(農林水産省)R4.3月

【ホームページ「愛媛のたなだん」】



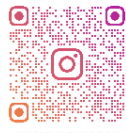
えひめの棚田・段畑サポーター



(ホームページ)



(公式X)



(公式Instagram)



(公式Facebook)

おくうち たなだ
奥内の棚田 (松野町)

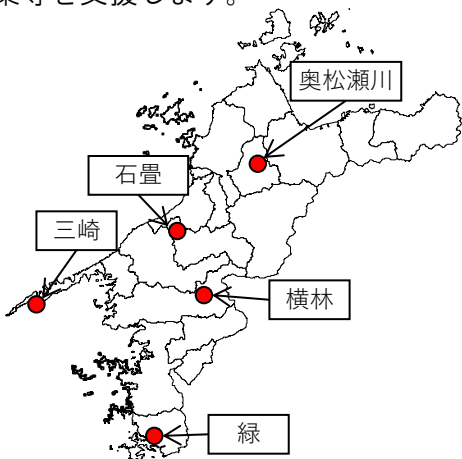


※つなぐ棚田遺産(農林水産省)R4.3月
※棚田百選(農林水産省)H11.7月
※重要文化的景観(文化庁)H29.2月

農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業

中山間地域等において、複数の集落の機能を補完する農村RMOの形成を推進するため、地域協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン(目標)策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等を支援します。

地区名	所在地	実施年度	主な実施内容
奥松瀬川	東温市	R5～R7	リースの商品化
横林	西予市	R6～R8	シイタケを利用した新商品開発
石畳	内子町	R7～R9	買い物支援(無人販売所営業)
三崎	伊方町	R8～R10	摘果柑橘を利用した新商品開発
緑	愛南町	R8～R10	ジビエ、川カニの新商品開発



～愛媛県の実践事例(横林地区)～



農用地保全に係る取組
(観光農園の整備)



地域資源活用に係る取組
(販路拡大に向けた商談会)



生活支援に係る取組
(有識者を招いた勉強会)

(7) 国営事業の推進

産地の生産力強化・農業用水の安定供給を図る国営事業を県内3地区で推進中！

事業名	地区名	実施年度	関係市町
国営施設機能保全事業	南予用水	H26～R9	宇和島市・八幡浜市 西予市・伊方町
国営緊急農地再編整備事業	道前平野	H28～R11	西条市
国営かんがい排水事業	道前道後用水	R5～R17	松山市・西条市・伊予市 東温市・松前町・砥部町

道前道後用水地区

4市2町に及ぶ道前道後平野の農業生産を支える国営道前道後用水施設について、施設の改修と併せて、耐震対策を進めています。

○国営道前道後用水施設の概要

- ・受益面積 9,178ha
- ・国営農業水利事業
(1期：S32～42、2期：H元～25) で造成

○実施内容 ダム(改修) 3箇所
頭首工(改修) 1箇所
用水路(改修) 28.2km



面河ダム(水源)

道前平野地区

県内水田面積の約20%を占める県下有数の穀倉地帯である道前平野地域において、担い手の農地集積や高収益作物への転換を促進するため、水田の大区画化や広域的な排水対策を進めています。

- 受益面積 681ha
- 実施内容 区画整理 654ha(19団地)
広域的な排水対策 323ha



愛媛の穀倉地帯
道前平野

四国山脈を越えて恵みの水を
供給する 虹の用水



南予地域の農業と生活
を支える 命の水

南予用水地区

3市1町に及ぶ日本屈指の柑橘産地の高品質生産を支える国営南予用水施設について、施設の改修と併せて、耐震対策を進めています。

○国営南予用水施設の概要

- ・受益面積7,200ha
- ・国営南予用水農業水利事業(S49～H11)で造成

○実施内容 施設の保全対策・耐震対策

〔野村取水塔、吉田導水路、
幹線・支線水路、揚水機場 等〕



■ 地域農業を支える国営用水施設

本県は、地形が急峻で、降雨が梅雨期や台風期に集中するため、その多くは水資源として利用されず海に流出します。このように水資源に乏しい本県にとって**安定的な農業用水を供給する国営用水施設**は本県農業に欠かせない重要な施設です。

道前道後用水施設

四国山脈を越えて恵みの水を供給する 虹の用水



南予用水施設

南予地域の農業と生活を支える 命の水





えひめの農業農村整備2026

【発行】

愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
TEL 089-912-2535 FAX 089-912-2534
URL <https://www.pref.ehime.jp/h35400/20/index.html>